

平成 20 年度福岡支部研修会の報告

福岡支部 長尾 陽

福岡支部では、11月17日に福錐会（地質調査・グラウト・地すべり対策・薬液注入・さく井）から講師の方をお招きし、研修会を行いました。県職員26名の方に参加いただきました。

研修会は、スライドを中心に進められました。研修会は15時30分から開催し、「失敗から学ぶこと」や「管内の地形、地質を見てみよう」、「N値ってなんだろう」等を説明されました。その中でも、「失敗から学ぶこと」が非常に興味深かったです。具体的に、大きな視点で調査箇所周辺の地形や地質を考慮して、さらにそれに基づき調査を実施しないと、工事を行うときに手待ちや手戻りが生じ、非常に問題があるというものでした。発注者としては常に経済的になるように、調査や設計、工事を計画する。しかし、十分な調査を行わないと、結果として不経済になり、なおかつ円滑な事業に支障をきたす可能性があるということがわかりました。以前、建設技術情報センターで開催された地質研修会の中でも、新北九州空港の連絡橋の基礎設計にあたり非常に詳しく地盤の調査を行ったために、調査費用は通常の調査に比べかなり高くなったが、詳細な調査により精度の高い土質定数の値が得られたことにより基礎設計が非常に経済的なものになったため、全体としてコスト縮減が図られたという事例が紹介されていました。

今回の研修を通じて、大局的な地形から現場条件を推定し、それに基づいた十分な調査を行うことが非常に重要であることがわかりました。これまで地質調査というと難しいというイメージがありとっつきにくかったが、今回の研修を通じて少しとっつきやすくなりました。

質疑応答の時間では、事業を行っている地質についての相談や、標準貫入試験についての議論がなされました。

以上、平成20年度福岡支部研修会の報告でした。忙しい中、福錐会の講師の方、ありがとうございました。

支部活動状況



福岡支部長挨拶



福鑑会の説明状況



聴講状況